

2021年度 特定行為研修シンポジウム



地域の看護師を対象とした 特定行為研修の実際

上尾中央総合病院 特定行為研修担当
香川さゆり

上尾中央総合病院概要



病院理念 「高度な医療で愛し愛される病院」



職員数：2,680名
医師：553名
看護職：1,030名
他：1,097名

2021年10月現在



- 地域医療支援病院
- 厚生労働省臨床研修指定
- 臨床修練等指定病院
- 特定行為に係る看護師の
指定研修機関 など

開講区分



2015年 開講時 7区分	2016年 追加6区分
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	ろう孔管理関連
循環器関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
心嚢ドレーン管理関連	創傷管理関連
創部ドレーン管理関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
動脈血液ガス分析関連	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
循環動態に係る薬剤投与関連	2021年現在 13区分

特定看護師養成で目指したこと

- ① どの勤務帯にもフロアごとに特定看護師を配置
- ② 2025年までに院内に100人を養成
- ③ 他施設からも受講希望者を募り地域の看護の質向上

研修の体制

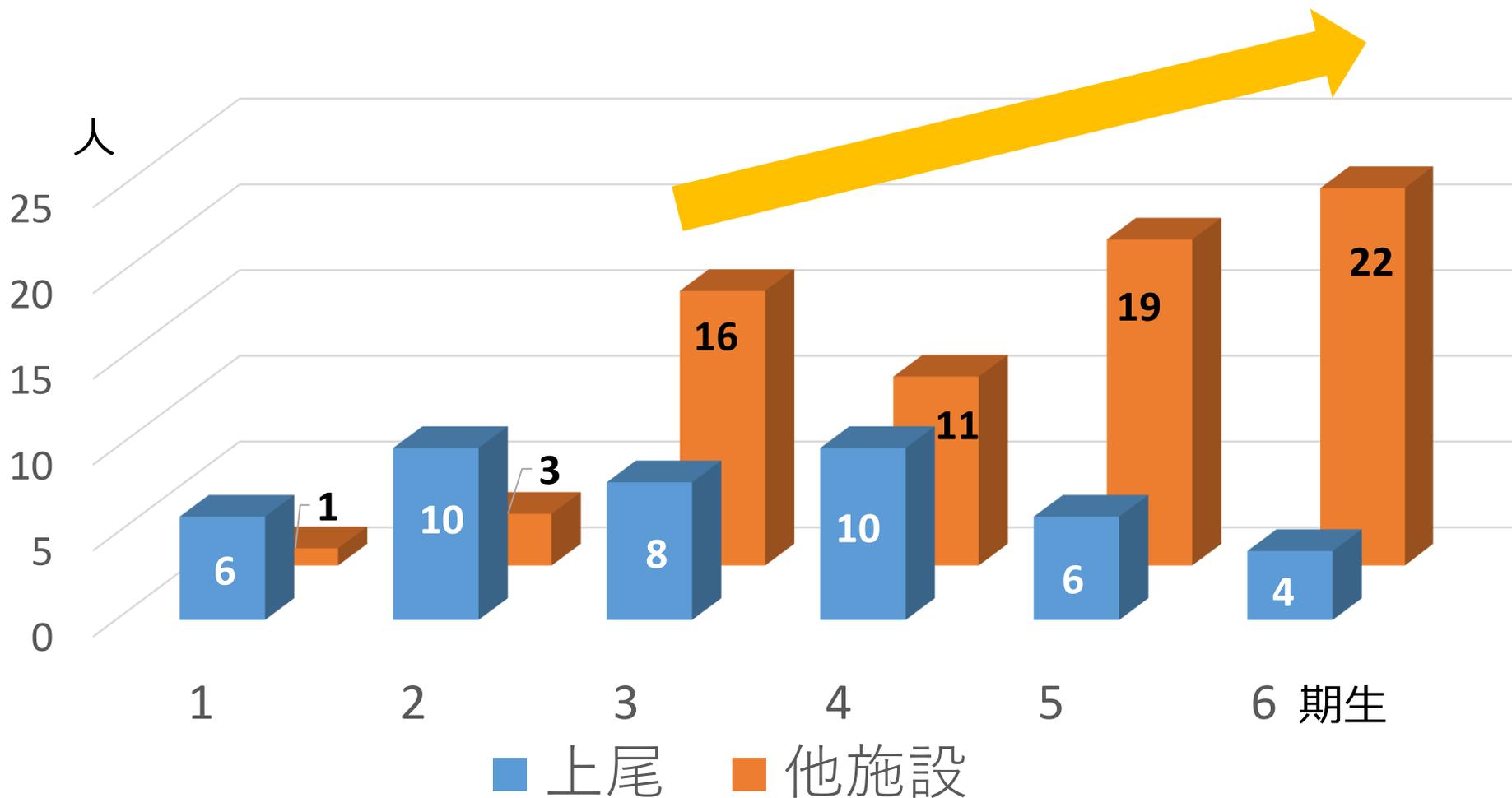


特定行為研修管理委員会
(責任者、講師、事務担当、外部委員など)

研修担当者

特定実践者部会
(特定看護師)

受け入れ研修生の推移



地域の看護師を受け入れること

メリット



他施設の情報を得ることができる

当院のことを知ってもらえる機会

緊張感をもって指導にあたれる

指導者としての視野が広がる

指導者として自己を振り返る機会

地域の看護師を受け入れること

デメリット



研修生の背景がわからない

施設の状況に合わせた指導ができない

実習症例の確保

安全の確保

研修修了後の活動が見えない

フォローアップ体制



①受講を考えている人へのフォロー

②研修修了時のフォロー

①受講を考えている人へのフォロー

個別相談会の実施

研修生からの要望でスタート

集団ではなくあくまで「個別」

研修（演習）の見学も可能

ほぼ100%受講につながっている



研修生からの要望とその対応

e-ラーニングの視聴が大変

→2月から視聴開始



e-ラーニングの視聴期限の延長

→研修修了後1年間視聴可能

研修担当者との連絡体制

→G-メールで24時間連絡可能

研修生からの要望とその対応

研修修了後の相談窓口

→研修担当が窓口

早い時期の相談会

電子カルテの使い方

→実習前に使い方研修の実施

実習に対する不安

→上尾の研修生と実習をペアにする



地域の看護師を受け入れるうえで大切な事

実習協力施設として協力依頼

研修修了後のフォロー

積極的なコミュニケーション



ご清聴ありがとうございました

